

家族・交流証言フォーラム

日時：平成 29 年 3 月 18 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分

場所：長崎原爆資料館ホール

●13 時 40 分～14 時 10 分 交流証言講話

講話者：久家江光子さん（田川博康さんの被爆体験）



「あなたたちは直接被爆者から被爆体験を聞ける最後の世代です。」この言葉から講話が始まりました。これは、中学校教員の久家さんが普段中学生に平和教育を行う際に伝えている言葉です。

田川さんの当時の体験、そして思い出したくない悲惨な体験を語るようになったきっかけをお話しました。

●14 時 15 分～14 時 45 分 交流証言講話

講話者：吉田睦子さん（末永浩さんの被爆体験）



冒頭で聴講者に向けて原爆についての質問をし、講話の中で詳しく解説する。平和案内人や朗読ボランティア「永遠の会」で活動している吉田さんならではの講話スタイルでした。

末永さんの体験と現在の活動を紹介し、核兵器のない世界を目指す末永さんの強い思いを伝えました。

●14時50分～15時10分 若者の平和活動紹介

発表：青少年ピースボランティア



青少年ピースボランティアが活動報告をおこないました。

ピースボランティアは被爆の実相について学び伝える活動を行っています。15年目を迎えたこの活動を映像で振り返りながら、聴講者参加型の楽しい報告会を行いました。

●15時15分～15時45分 交流証言講話

講話者：原田理紗子さん（丸田和男さんの被爆体験）



原田さんは3月に高校を卒業し、1週間後に海外留学を控えての講話でした。「丸田さんの被爆体験を海外の人にも伝えていきます。」と力強く締めくくりました。

丸田さんの貴重な幼少期の写真も用い、当時の体験のほか、現在の活動や亡くなった学友への思いを伝えました。

●15時50分～16時20分 家族証言講話

講話者：沖西慶子さん（母：素子さんの被爆体験）



広島市の「被爆体験伝承者」として活躍している沖西さん。長崎原爆の被爆者であるお母さんと伯父さんの体験を語りました。

講話の最後には当時学生が歌っていた「海ゆかば」をヴァイオリンで演奏しました。演奏に合わせて口ずさんでいるかたもいらっしゃいました。